



と
ひ
秋山学前社
長からバト
ンを引き継
いだ。「1
〇〇年企業

25日付で

得を進めている。ただ、目指すのはその先。「優先すべきは魅力ある企業へと成長させることだ。そうすればおのずと人材は集まつてくる」と力強く語る。

新日は1969年の創業以来、中部を拠点に、関東や関西、東北にも営業所を設け、インフラの測量・調査・設計・維持管理や不動産鑑定などの建設関連業務全般を通じて、地域社会に貢献してきた。今後は、これまでの事業をさらに発展させるためにも、労働環境の改善や人材確保といった取り組みが重要になると認識している。その取り組みの一環として、技術系社員を支援するため、事務系社員にも建築・土木をはじめとした専門資格の取得を勧めている他、定年退職した経験豊富なベテラン社員の再雇用、即戦力となる中途採用の人材獲

101人の社員のうち、女性社員の割合はまだ約16%だが、以前から女性のキャリア形成には理解を示してきた。社内独自の育児休暇制度があり、女性社員だけでなく、男性社員も育児休暇を取得した事例がある。「社会的に男女の役割分担意識は変化している。役員から多様性を認めていかなくては企業の成長はない」とダイバーシティの必要性にも目を向ける。

入社41年。人生の大半は会社と共にあり、現在、計画中の新社屋建設も「在任中には実現させたい」と意欲を見せる。経営理念である『奉仕に徹し、一歩一歩…また一歩』の思いを胸に抱き、トップとして歩み始めた。

(中部支局)=高柳功嗣

【略歴】81年3月九州測量専門学校土木建設科卒業、同年4月入社。95年4月企画開発課長、99年4月品質管理室長、07年4月技術部長、11年4月取締役技術部長。技術士(建設部門)。京都府出身、62歳。

優先すべきは魅力ある企業づくり



新日代表
取締役社長

石堂 どう
いし どう

公彦さん
きみ ひこ